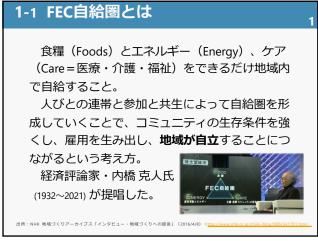
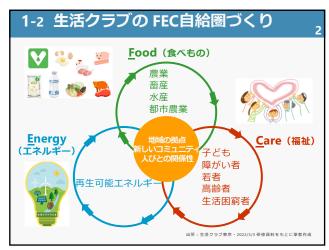


| 次 | | | |
|-----|-----|-----------------|----|
| 1-1 | | FEC自給圏とは | 1 |
| 1-2 | | 生活クラブのFEC自給圏づくり | 2 |
| 2-1 | (F) | 食べることは生きること | 3 |
| 2-2 | (F) | 「消費材」がつなぐもの | 4 |
| 3-1 | (E) | 生活クラブ風車・夢風 | 5 |
| 3-2 | (E) | 「夢風」がつなぐもの | 6 |
| 4-1 | (C) | ユニバーサル就労 | 7 |
| 4-2 | (C) | 「たすけあい」がつなぐもの | 8 |
| 5. | | おわりに | 9 |
| 6. | | 参考文献 | 10 |



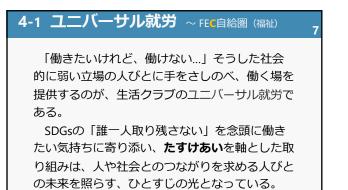














5. おわりに ~ 生活クラブの実践を学んで

SDGsと協同の理念のもと、食・エネルギー・福祉の持続可能性を追求し、消費材を通じて人と地域(社会)がつながりあい、深いかかわりで参加できるしくみが「生活クラブ」である。

目には見えない向こう側(食料輸入やコンセントの先の生産から廃棄、日常生活にひそむ生きづらさ)にも思いをはせ、「くらしから社会を変えていく」という強い意志がさまざまなチャレンジを行う原動力になっていた。

安心・安全を未来につなぐべく、生活クラブはサステイナブルな社会の実現をめざし、FEC自給圏の輪をますます広げていくであろう。

6. 参考文献

10

10

NHK 地域づくりアーカイブス 「インタビュー・地域づくりへの提言」 (2016/4/8) https://www.nhk.or.jp/chiiki-blog/900/241791.html 2022年3月6日閲覧

生活クラブ・ホームページ

https://seikatsuclub.coop/

2022年3月6日閲覧

生活クラブ東京・研修資料(2021キャリアチャレンジ)

11 12



OUTLINE

・ Q1への応答 事例その1
・ その2
・ その3
・ Q2への応答 事例その1
・ その2
・ まとめ

1 2

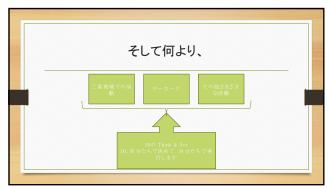




3 4







Q2. 「協同組合」の「協同」が現場の実践のなかにどのように具現化されているのか?

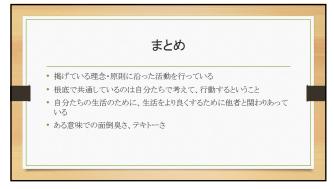
「共同」ではなく、「協同」

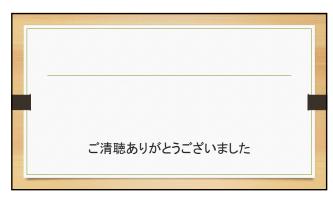
共同:二人以上の人や団体が一緒に物事を行うこと。
協同:二人以上の人や団体が力を合わせて物事を行うこと。

⇒どのように人や組織が力を合わせているのか、協力しているのか、たすけあっているのか

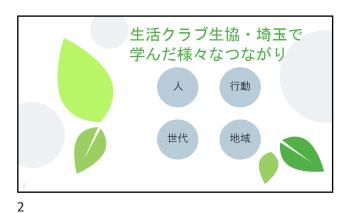


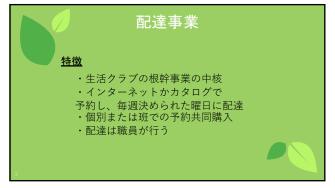












デポー事業

<u>特徴</u>

- ・組合員による出資、利用、運営
- ・店舗型の共同購入という仕組み
- ・ワーカーズコレクティブに業務を委託

気付き

- ・運営する組合員の方々はバンダナとエプロン姿
- ・組合員の方々の声が店内で聞こえること
- ・手書きのポップ
- ・地域とのたすけあい、つながりの場



3 4



食に関わるつながり

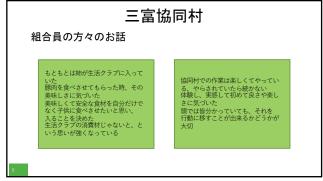
地域・・・地域のお店の出店 コミュニティスペースとして 地産地消 組合員と生産者(職員を通じて)

8

世代 ・・・安心、安全 食料自給、美味しさ 生産者の継承、存続

6 5





7

三富協同村

お話を伺って

- ・関わる人皆が、何かしらの目的と根拠を持っている × ただ何となく良さそう
- ○子供や家族に美味しく安全な食品を食べさせたい
- ○生産者とのつながりを大事にしたい ○環境にやさしいエネルギーを使いたい ・自身が経験して良いと思ったことを周りにも伝えた
- いという気持ち
- ・自主的な活動だからこそ同じ気持ちを 持った人とつながることができる



9 10

三富協同村

職員:小山さんのレクチャー

- ・農業塾(体験農園)は人により、何を求めて農業をするかの理由が異なる(自分や家族が食べるため、農業を学ぶた の理由が異なる(自分や家族が良べるため、展集を子ぶため)
 ・協同村の畑で使っている堆肥は維木林で作られたもの・雑木林は行政だけでは管理しきれず、放棄されていたところを生活クラブが買い取り、組合員の手で管理している・遊び仕事で人と人をつなぐ・畑や雑木林での作業はワーカーズコープ障がい者の活動の担にされている。

- の場にもなっている

三富協同村

お話を伺って

- ・職員の方々も、立場は違えど組合員と同じ考えを 持って活動している
- ・組合員が自主的に活動できるよう仲介・手助け・ 参加することが職員の方々の活動の根幹
- ・関わる人皆が夢を持っていると感じた(今後はこう していきたい、というビジョン)

12 11

Lnergy エネルギー

- ・電気・再生エネルギーの共同購入
- ・生活クラブ総合エネルギー政策 よつくる、使う、減らす
- ・生活クラブのエネルギー7原則
- ・風車「夢風」
- ・環境への取り組み



14

13

Care 77

- ・共済
- ・生活クラブの福祉・たすけあい8原則
- ・講座、プログラム
- ・エッコロ制度
- ・ワーカーズ
- ・Tハウス



ケア・福祉に関わるつながり

エネルギー・環境に関わるつながり

交流事業(にかほ市のような)

地域・・・地域産業の発展、経済効果

安心、安全災害対策

世代・・・次の世代も使えるエネルギー 気候変動対策

政治的働きかけ

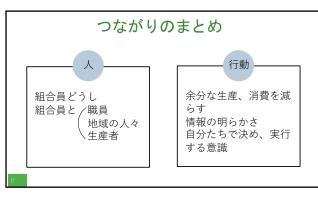


・・・主人公と中間者の存在 多様な人々



・・・心身の居場所(拠り所) 自治体との連携(生活支援等) 安心、安全 災害対策

15 16







首都圏の生活クラブ生協を通して 協同組合の実践を学ぶ



生活クラブ神奈川

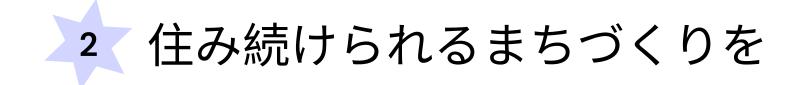
人間環境学部 1年H組 21H0702 金子千夏

SDGsをはじめとする生活クラブの理念や原則は、 実際の活動や事業にどのような具体的な形 となって現れているか?

大きく分けて3分野のSDGsのゴール



気候変動に具体的な対策を&海と陸の豊かさを守ろう







1気候変動に具体的な対策を&海と陸の豊かさを守ろう

- ●デポーでの脱プラスチックに向けた工夫
 - ・容器の再利用
 - ・プラスチック以外の容器の使用
 - タッパー使用
- ●消費材の生産工程の明確化
- ●クリーン活動
- ●エネルギー事業









2 住み続けられるまちづくりを

- ●共済事業
 - エッコロプラス、エッコロ共済
- ●福祉事業
- くらしサポート事業
- ・生活リハビリクラブ事業
- 就労準備支援事業
- ●防災減災コミュニティ



3 つくる責任、つかう責任

遊佐田んぼクラブについて学ぶ中で.....

組合員と生産者が話し合ってどのようにお米を作るか決める

一)消費する側もつくる責任を担うと同時に 生産者と交流することで大変さを知り、12355年 つかう責任の重大さも増す



「つながり」、「連帯」、「共創」といった一連の概念が、協同組合の「協同」という現場の実践のなかに どのように具現化されているのか?

大きく分けて3つの活動から.....

- ナデポー、配送の業務内
- キララ賞の表彰式、講演会を通じて
- 3 環境平和委員会の活動、田んぼクラブの報告会



●デポーの仕事は自己申告型のシフト制で余 裕のある人が余裕のない人をカバーする



●配送業務は配送をすることだけが仕事ではなく 生活クラブを広める大事な役割も担う

協同の場における共創

2 キララ賞の表彰式、講演会を通じて

キラう賞とは若者が行っている活動に対して応援する活動

キララ賞を受賞した若者

過去の受賞者との交流を通じて新たな可能性を見出す

キララ賞を見ている人達

世の中で起きている問題について知るきっかけになり、新しい知見を得られる



新しいつながりを生み出す場となっている



3 環境平和委員会の活動、田んぼクラブを通じて

どちらの活動もそこに参加している1人1人が自分の意見を持って話し合いを行なっている

- ○環境平和委員会の例 「マヨネーズの容器を瓶にするかプラスチックにするか」
- ○田んぼクラブの例 「どのようにお米をつくっていくのか」

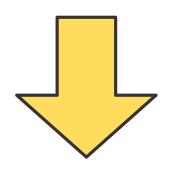
誰かに任せきりにするのではなく、みんなで作り上げている



協同の場における共創

まとめ

生活クラブではつながりを大事にしていて、協同を行っているからこそ、サステイナブルな暮らしを実現できている



SDGsを踏まえてこれからの未来のために サステイナブルな暮らしを広めて実現させていくためには、 人々の**つながり**が大切になっていくのではないか



生活クラブ神奈川の皆さん、お世話になりました。ありがとうございました。



ご清聴ありがとうございました。

キャリアチャレンジ最終発表

人間環境学部3年 ヘッティアラッチ増山紗織 18H0720

SDGsへの具体的な取り組みについて

- •フードドライブ・バンクの取り組み
- ・再生可能エネルギー利用への取り組み (気候変動防止への取り組み)
- •ロシアの侵略行為への抗議

1 2

フードドライブ・バンクへの取り組み

・フードバンクとは

まだ食べられるにも関わらず処分されてしまう食品を、食べ物に困っている施設や人に届ける活動

・フードドライブとは

家庭で余っている食品を学校や職場に持ち寄り、それらをまとめて 地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動

• フードバンクの歴史

1967年のアメリカで、スーパーでの大量の食品ロスを教会に寄付してもらったことから始まった

生活クラブ千葉のフードバンクの実績

•取り組みへの経緯

食品ロスや貧困をなくすため、組合員の家庭で余っている食品 をフードバンク千葉に届ける仕組みを作る

•生協同士の連携によるフードバンク

2017年度より、千葉県内の5生協+県生協連、フードバンク団体 が連携して協同でフードドライブ活動を実施している

実績

2016年から開始。当初200kgの食品寄付量から、一番多い開催 時で1782kgまで増加した。

3 4

フードバンクのSDGsとしての意味

- 食品ロス削減、困窮者支援
- SDGs1 貧困をなくそう

1.22030年までに、各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にある、全ての年齢の男性、女性、子供の割合を半減させる。

• SDGs2 飢餓をなくそう

2.1 2030年までに飢餓を撲滅し、全ての人々、特に貧困層及び 幼児を含む脆弱な立場にある人々が一年中安全かつ栄養のある食 料を十分得られるようにする。

再生可能エネルギーへの取り組み

- ・生活クラブのエネルギー7原則の制定
- 1、省エネルギーを柱とすること
- 2、原発のない社会、CO2を減らせる社会作り
- 3、地域への貢献と自然環境に留意した発電方法の推進
- 4、電気の価格や送配電の仕組みを明らかにする
- 5、生活クラブの提携産地との連携を深め、エネルギー自給率を高める
- 6、エシカルコンシューマーとして、再生可能エネルギーによる電気を積極的に共同購入する
- 7、生産から廃棄まで、トータルで責任を持つ

5

6

2020年度の実績

- •秋田県にかほ市での「夢風」プロジェクト
- ・全国61ヶ所の発電所で発電
- 契約件数16,688件
- •太陽光余剰電力の買い取り



再生可能エネルギー推進のSDGsとしての意味

• SDGs7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに 7.1 2030年までに安価かつ信頼できる現代的エネルギーサービ スへの普遍的アクセスを確保する。

• SDGs13 気候変動に具体的な対策を

13.3 気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。

7

ロシアの侵略行為への抗議

SDGsとしての意味

• SDGs16平和と公正をすべての人に 16.3 国家及び国際的なレベルでの法の支配を促進し、全ての人々に司法への平 等なアクセスを促進する。



協同組合の「協同」の具現化について

- ・組合員一人一人が出資、利用、運営している
- 自分たちの暮らしに必要なものやサービスを自分たちで手にすることが可能
- ・使用する価値を追求した「消費財」を協同購入
- 自治的な組織として機能している

9 10

ありがとうございました。

地引様 生活クラブ千葉の皆様 大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

参考文献

・イマココラボ SDGs17の目標 & 169ターゲット個別解説

<u>https://imacocollabo.or.jp/about-sdgs/17goals/</u>
• 生活クラブエナジー

https://scenergv.co.ip/about ・ サステナブルなひと、生活クラブ 緊急声明

https://chiba.seikatsuclub.coop/news/detail.html?nid=1000012875 ・生活クラブ千葉パワーポイント

https://drive.google.com/file/d/1nR6f3WmXsQW15PChQGZ8OAPfBdA0i7Dq/view?usp=sh

aring ・生活クラブ千葉パワーポイント

https://docs.google.com/presentation/d/1RbJV5_OnYsxkixrUJBCNtH558Z5Eh_g/edit?usp= sharing&ouid=101532817748889308518&rtpof=true&sd=true

12 11

2022.3.19(土) 最終報告会

今後の「社会」を考える ~生活クラブの実践から~

報告者:法政大学 人間環境学部3年 加藤 駿之介

1.はじめに ~問いかけ~

?生活クラブをはじめとする「協同組合」

その活動は「経済」活動なのか?

→イメージの「経済主体」とは異なるのでは?

1

2

1.はじめに ~問いかけ~

A:「経済」活動である

- ◎「経済」とは…
 - → 「人間がその生命を持続させるために必要とする財やサービス を生産し、流通させ、分配し消費する活動のことであり、 それらの活動を支える社会的諸関係のこと」(馬渕2021)

「生活することは、消費すること」

→様々な活動で「現状の社会」とは異なるアプローチを実践

II.生活クラブの理念・原則

Food

above
10mm

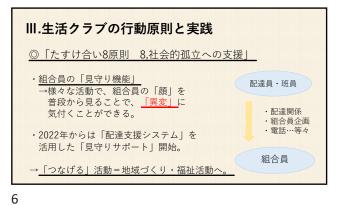
Lenersy

Thinks Act

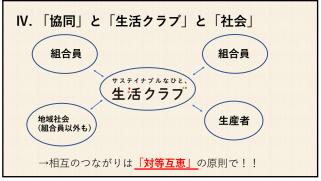
Care
(出典:生活クラブHP 「理念・ビジョン」
https://seikatsuclub.coop/about/vision/)

(出典:国連広報センターHP
https://seikatsuclub.coop/about/vision/)





Ⅲ.生活クラブの行動原則と実践 ◎「たすけ合い8原則 8,社会的孤立への支援」 「お互いに顔を合わせること」の持つ役割の大きさ (第2回個別プログラム 永田様のお話から) 個別配送の増加(⇄班制度の減少)も課題の一つに ⇒新たな取り組みをする時にも「**理念・原則**」を 忘れないことの重要性



7 8

IV. 「協同」と「生活クラブ」と「社会」

☆「協同」の実践

- ・共同購入(消費財・電力) (組合員⇄生産者) ・フードドライブ (組合員⇄組合員・地域社会)
- ・保育 (組合員の子ども→組合員・地域社会) ・コミュニティ/居場所づくり (組合員→組合員)

など

⇒**「協働的連帯」+「利他主義的連帯」**両立の実践

IV. 「協同」と「生活クラブ」と「社会」

☆今回の課題:「協同」が現場実践でどのように具現化されているか?

「理念」に基づき活動 = 全ての活動に具現化されている

☆各ブロックの運営委員・生活クラブの職員

◎生活クラブの「**理念・原則」から逸脱しないように運営**

「協同」に基づいた「活動・実践」

9

10

12

V.終わりに ~今の我々にできること~

☆これからいわゆる「社会人」になっていく我々 →本当の「社会人」になっていくには? →そして、今後の「社会」はどうしていくべきなのか?

<u>生活クラブの職員の皆さんから…</u>
☆「社会に関心を持ち続けて、学び続けること」(第2回永田様より)
☆「すぐに出来る一歩を踏み出す(生活クラブの企画でも!)」

(第5回宮間様より) ☆「困っている人に出会った時、一歩踏み出し手を差し伸べてみる」 (第4回柴山様より)

V.終わりに ~今の我々にできること~

☆「人と人とのつながり」が「協同」の基盤であり、生活クラブ

の取り組みや理念、職員の皆様の言葉から「つながり」こそ

重要となってくるのではないかと感じました。

2030年に、どのような「社会」で生きていきたいですか?

☆最後に、生活クラブ千葉「虹の街」の皆様、この度は貴重な 機会を、お忙しい中本当にありがとうございました。

11

VI.参考文献

- ・キャリアチャレンジ各回資料
 ・「生活クラブ生協」HP (https://seikatsuclub.coop/)
 ・「国際連合広報センター」HP (https://www.unic.or.jp/)
 ・「連帯論 分かち合いの論理と倫理」筑摩選書,馬渕浩二,2021
 ・「協同組合論 –ひと・絆・社会連帯を求めて-」全国大学生活協同組合連合会,庄司興吉/名和又介編,2013
 ・「西暦二〇三〇年における協同組合-コロナ時代と社会的連帯経済への道」社会評論社,柏井宏之/樋口兼次/平山昇,2020

今後の「社会」を考える ~生活クラブの実践から~

報告者:法政大学人間環境学部3年 加藤 駿之介

1.はじめに~問い~

①報告者の参加前の疑問

「生活クラブをはじめとする生活協同組合。どういう組織なのだろうか?」

「一般的ないわゆる「会社・企業」とはどこが違うのか?」

「生協の取り組みは端的に、お金になりにくそう…?社会でどういう立ち位置?」

1

☆前提として…

生協の活動は「経済活動」のあり方の一つ。一般的なイメージ:お金儲け?
☆「経済」とは何か…

「人間が<u>その生命を持続させるために必要とする財やサービス</u>を生産し、流通させ、 分配し消費する活動のことであり、それらの活動を支える社会的諸関係のこと」!

- ・生協の活動:食料品の生産・配達(流通)、保育、電力事業、福祉事業…
- →まさに、「生命を持続するために必要とする財やサービス」を扱う活動。
- ・ただし、一般的に「利潤」を追い求める株式会社などとは異なるアプローチを取る。 協同組合は組合員が主体となり、組合員の「ニーズ」を満たすために自主的に 「自発的に」手を結び、「出資・利用・運営」している組織。

Ⅱ-1.生活協同組合・生活クラブの理念

☆千葉第1回個別プログラム 塙専務理事より…

「生活することは 消費すること」2

「生活するために」…「何を食べる?」

「安全なもの・環境に良いもの…」→このようなものが無かった!

そのようなものを求める人々が「連帯して」つくった!

^{1 「}連帯論 分かち合いの論理と倫理」筑摩選書,馬渕浩二,2021

² 生活クラブ生協 HP「理念・ビジョン」の冒頭にも記載がある。

- ☆「なにを、どのように」消費するか?

 ▽「生活することは、消費すること」
 - ・気候危機、SDGs (持続可能な開発目標)…
 - →「10の行動原則」・「FEC (Food・Care・Energy)自給圏構想」

☆生活クラブの行う取り組みや活動は様々な分野に渡る。

→一見、関連の無いようなテーマも「理念・原則」を通して関連しあっている。

(例:「食」と「社会課題」=廃棄減-貧困対策-子育て支援 など 「食」と「教育」=小規模保育園での「食育」の実施 など 「環境」と「教育」=小規模保育園での「木育」の実施 など 「食」と「福祉」と「社会問題」=消費財の配達を通じての「見守り」→後述)

II-2.SDGs と生活クラブ

☆生活クラブの「10 の行動原則」や「消費財・エネルギー・福祉たすけあい原則」は、 SDGs (持続可能な開発目標)と関連している。(似ているとも考えられる)

☆法政大学人間環境学部の主要テーマとも言える SDGs その SDGs や生活クラブの行動理念や行動原則はどのように実践に現れているか?

Ⅲ.「福祉」と生活クラブの実践

本来であれば、個別プログラムで講義をしてくださったお話を全て含めて発表したいが、個別の持ち時間が 10 分であり、その中では納めきれない程の内容であるので、今回は特に「福祉事業と生活クラブと SDGs」に絞って発表したい。

☆生活クラブの「福祉・たすけあい8原則」 今回のキャリアチャレンジで「福祉」に関わるテーマとしては、

- ①生活クラブ虹の街 小規模保育園事業
- ②フードドライブを活用した困窮者支援活動
- ③消費財の配達を活用した「見守り機能」
- ④エッコロ制度
- ⑤「街の縁側づくり」をもとにする、「居場所」づくり

など。

☆スライドでは③「見守り機能」について紹介。

- →「孤独死」の増加という社会課題に対して大きな役割を果たしうる。
- →日々の業務(配達)において、「いつも受け取りに来る人が出てこない」 「毎週の注文が今週はされていない」

「(個配では)先週の消費財がそのままになっている」

この様な「異変」を職員、時には組合員が発見=各種機関へ通報が可能に。

☆第2回プログラムで講義をしていただいた永田さんのお話

<u>『配達業務をしていて、多くの人と関わることは「楽しい」</u> ぜひ一緒に興味あるなら配達に行きましょう!!』

→「組合員同士」「職員と組合員」等々…「顔を合わせてつながること」の重要性

☆その一方で、今後の課題についても…

- ・働き方の変化、家族形態の変化など社会の大きな変化によって生活クラブも変化。 →大きな変化が消費財の「個別配送」の開始<

 →班別共同購入
- ・当然、個別配送の仕組みを否定はしないが、「顔を突き合わせる機会」「つながりを持つ機会」の減少は避けられない。
 - →生活クラブの「新たな取り組み」などを行う際には、<u>根本にある「理念・原則」</u> から逸脱しないようにすることも今後は重要になってくる。
- Ⅳ.「協同」と「生活クラブ」と「社会」
- ☆生活クラブの「協同」の実践と「対等互恵」の原則
 - ・生活クラブにおいて「協同」は様々な活動・取り組みの中で実践されている。 →そもそも「協同」とは何だろうか…?
- ☆「協同」が必要な理由
 - =「一人では成し得ないことを成立させるため」
 - 本文Ⅱ-1でも紹介した消費財の過程ように、
 - ①組合員のニーズを満たす消費財を作りたい!
 - ②しかし、自分一人で作ることは出来ない…
 - ③同じ考えを持つ人が集まり、生産者に掛け合ってみる
 - ④ニーズを満たした消費財の誕生→生産者の持続的な農業実現へ… というようなことも、「協同」を行うことで可能となる。

☆(発展)「協同」すること=「連帯すること」-「協働的連帯」「利他主義的連帯」-

「協働的連帯」…「*個人は共通の目標や利益を実現するために自分の労力を提供するが、その見返りにこの共通の利益や目的を享受する*3」

「利他主義的連帯」 「苦境におかれた者たちへの、いわば一方的な助力としての連帯」

◎「連帯する」というのは、上の二つどちらの側面も持つ必要がある。「利他主義的連帯」は基本的に労力の負担に対して見返りを得ることがないため、非対称の関係にある。 生活クラブの活動では、消費財の生産や、電力事業などは「協働的連帯」の側面が、子ども食堂などの取り組みは「利他主義的連帯」の側面が強いと考えられる。

どちらの連帯の形が「良い悪い」ということはなく、「連帯」を考える際には、 どちらの側面も有する。

☆生活クラブは、「消費財・保育・フードドライブ・コミュニティづくり」 などの活動を通して、「協同することでお互いのためになる」ことを得ている。 (対等互恵の原則≒協働的連帯)

☆さらに、「子ども食堂」など、「利他主義的連帯」の側面の強い活動も実施して おり、生活クラブの理念にあるような「連帯」の実践を行っている。

V.おわりに ~今の我々にできること~

☆「つながり」の重要性

- →キックオフミーティングでの半澤専務のお話から…(社会的孤立度)
- →「虹の街」グループの職員の皆様からの話を聞いて…
- →「社会課題に関心があるが、行動に移せない大学生へのメッセージ」という私の 質問に対していただいた回答から…
- →コロナ禍において「つながることの出来ない」という経験からの苦悩についての お話から…(小規模保育園事業における地域社会との関わり合いの減少)



「つながり」という抽象的な概念ではあるが、つながりの構築は重要になる

^{3 「}連帯論 分かち合いの論理と倫理」筑摩選書,馬渕浩二,2021,p48

⁴ 同上。

☆2030年の「社会」はどうなる?どうしたい?

「問題を一気に解決できるかに見える単純で強力な策は、その強力さすなわち その権力性故に人間性を損ない、社会をかえって悪化させる。社会を成立さ せるものは、原理的に言って、些細な人間的行為の自発的で継続的な努力 しかないのだから⁵/

☆「大学生に向けて…」ということを職員の方にお聞きしたところ…

- ・「社会に関心を持ち続けて、学び続けること」(第2回永田様より)
- ・「些細なことでも、すぐにできる一歩(募金でも、ちょっと環境に良いことをする でも、生活クラブの企画に参加することでも!)を踏み出してみる」

(第5回環境施策について:宮間様より)

- ・「困っている人に出会った時、一歩踏み出し手を差し伸べてみる」 (第4回フードドライブ事業についての講義:柴山様より)
- →→「社会」を変えるには、結局些細なことの積み重ねしかない。そして、多くの人と 連帯し、手を取り合うこと(自己責任に帰するのではなく)が重要なのでは?

VI.キャリアチャレンジ実施に関する御礼

キャリアチャレンジの実施に関しては、生活クラブグループの職員の皆様に大変お世話になりました。日々、大変お忙しい中にも我々のために時間を割いていただき、またコロナウイルスの影響もあるなか、大変貴重なプログラムを計画・実施していただきましたこと、感謝の念に堪えません。

特に、生活クラブ「虹の街」総務部の地引様には、個別プログラムの実施にあたって、本当にお世話になりました。我々の疑問等にも即座に対応していただき、また円滑な実施のために様々工夫を凝らしていただきました。本当にありがとうございました。

そのほか、各回講師として講義をしていただきました職員の皆様には、大変有意義で 学びの多いお話を頂きました。お忙しい中本当にありがとうございました。

末筆とはなりますが、生活クラブグループの今後益々のご発展を心よりお祈り申し上 げます。

^{5 「}社会(コンヴィヴィアリテ)のない国、日本」講談社選書メチエ,菊谷和宏,2015,p234



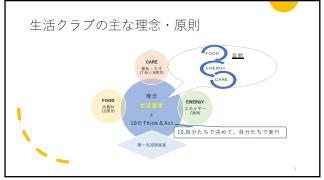
日次

1: SDGs をはじめとする生活クラブの理念や原則は、実際の活動や事業にどのような具体的な形となって現れているか?

2: 「協同組合」の「協同」が現場の実践のなかにどのように具現化されているのか?

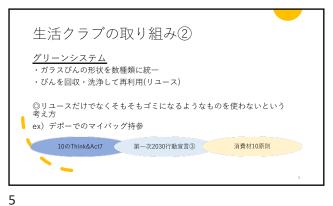
・生活クラブの主な理念・原則
・生活クラブの取り組み①②③
・さまざまな"協同"の形
・キャリアチャレンジを通して
・参考文献

2



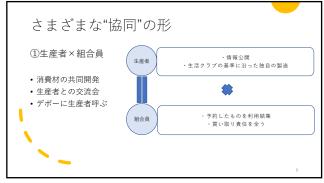


3



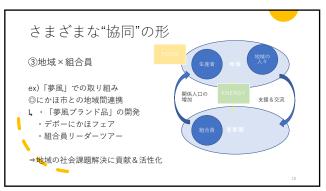


1: SDGs をはじめとする生活クラブの理念や原則は、実際の活動や事業に どのような具体的な形となって現れているか? 2: 「協同組合」の「協同」が現場の実践のなかにどのように具現化されて いるのか?



7 8

さまざまな"協同"の形 ②組合員×組合員 ・ 消費材の共同開発 • コミュニティ活動 L ・日常での助け合い…「エッコロたすけあい制度」 ・非常時での助け合い… 緊急時の支援物資配達・受取訓練 ○ワーカーズ・コレクティブ ⇒組合員の居場所・役割&組合員同士のつながり作る



9 10

キャリアチャレンジを通して

- さまざまな人とのつながり重視
- ・手間や時間を惜しまない→こだわりぬいた消費材が可能
- 依存しないという考え方
- 「向こう側」が見える
- ・「自分で考え自分で行動」→"意思ある個人"の台頭

